

2020年11月6日
損害保険ジャパン株式会社

大阪府への『災害備蓄食料』寄贈について

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、災害に備え大阪府内の店舗に保管する『災害備蓄食料』を大阪府（知事：吉村 洋文）に11月6日寄贈したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・損保ジャパンは、大阪府と府民サービスの向上や地域活性化に関する取組みを相互協力により推進するための『包括連携に関する協定』を2016年7月に締結しております。
- ・今回の寄贈は、福祉分野における連携の一環です。

2. 目的

備蓄米は大阪府を通じて配布を希望する府下の市町村に提供され、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響により、増加している生活困窮者等の自立支援に役立てていただきます。

3. 具体的な内容

- ・災害に備え大阪府内の店舗に保管する賞味期限到来直前のアルファ化米**2,050食分**の寄贈提供を行いました。
- ・同取組みは本年度で4年目となりますが、提供数は過去最多となります。

【参考】過去の寄贈実績

第1回	平成29年	1,100食	
第2回	平成30年	1,650食	
第3回	令和1年	1,950食	
第4回	令和2年	2,050食	※本年度

4. 今後について

災害備蓄食料の寄贈には、大量の食品廃棄発生防止に努め、持続可能な循環型社会の実現に貢献する意味もあります。損保ジャパンは、今後も地方自治体と連携しながら、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以 上